

Toilet Topics

異例の大ヒット！
うんこ漢字ドリル

今年3月に発売された「うんこ漢字ドリル」が2ヶ月で227万部の大ヒットとなっています。1年生から6年生までに習う1006文字×3つの例文で3018例文すべてに「うんこ」を使用しているのです。「^{うん}こしたうんこはここにしまっ^ててあります」「うんこを毛^いでぐるぐるまきにします」など、その奇想天外な発想で思わず噴き出しそうになるものばかり。ご丁寧に漢字を書くマス目までうんこの形をしています。「勉強嫌いな子が笑

いながら机に向かってい^る」「子供に迎合してい^ては本当の表現力はつかない」など、様々な意見が集まっています。排泄

についての出前教室を数多く行い、「うんこダスマン」などの書著があるアクトウェア研究所の村上八千世さんは、「うんちは出さずにはいられないもの。学校でうんちができない子が問題になる中、うんちという言葉オープンにすることで、排泄の話がしやすくなるのではないか」と肯定的に捉えています。うんこ漢字ドリルは「勉強」と「排泄物」というできれば遠ざけたいものを、ポジティブかつ楽しくしてくれる魔法のドリルなのかもしれませんね。

うんこかん字ドリル

motto!グッドトイレ

～グッドトイレ選奨2016から～

毎年日本トイレ協会主催で、優れたトイレ建築や文化活動に贈られる「グッドトイレ選奨」。選奨に選ばれた作品や活動を通してもっとトイレのことを知ってもらおうコーナーです。

東京都昭島市 松原保育園

0～2歳児用トイレ
室内オープンに配置された
トイレだが間仕切りで見えない工夫がされている。

3～5歳児用トイレ
改修工事のため床高を上げる必要があったが、ステップフロア風にポジティブに活用。

保育園児にとって排泄は日々の成長発達と密接な関係があるため、トイレ・水まわり環境が保育の質を左右すると言っても過言ではありません。築25年以上になる東京都昭島市の松原保育園では、設備が古いばかりでなく、使い勝手が現状と合わなくなってしまったトイレの改修を試みました。

3～5歳児用のトイレは「ひとりでも行きたくなる！」をコンセプトに、狭い通路の奥にあった小便器を手前に配置し、アプローチしやすくしました。大便器ブースの仕切りの高さも低くし、こどもにとって圧迫感を感じさせない空間になっています。一方0～2歳児用では、以前のトイレは沐浴・洗濯室と共用スペースで、おとなとこどもの動線が入り乱れ、バケツなどの備品もあり安全なトイレ環境とは言えません。改修後は沐浴・洗濯室と分離したトイレを保育室の中央に配置することにより動線がすっきりし、こどもは自由にトイレに行き来できることでオムツの取れる時期も早くなりました。

グッドトイレ選奨審査委員の小林純子氏は、「管理的な制約の多い保育園のトイレで、こどもの行動や感情を捉え、保育の機能を見据えたトイレになっている」と受賞の理由を語っています。

編集後記

10年以上前になりますが、社員旅行の際にTOTOミュージアムの前身の歴史資料館と工場を見学したことがあります。トイレの仕事をしている私たちにとっては展示されている貴重な資料は垂涎もの。職人さんが手作業で仕上げる大便器や、自動で釉薬を吹き付ける機械、長いトンネル状の窯を通して焼きあがった便器が厳しい品質チェックを受けて出荷される様子など、素晴らしい技術力に感動したことを覚えています。私も新しくなったミュージアムにまた足を運んでみたいですね。(セルベッチオ中嶋)

ハネオくん 間違い探しクイズ！

こたえ合わせ

- 屋根の上の雲
- カレンダーの日曜の字の色
- 飛行機のマーク
- ハネオくんの靴下の色
- 机の上のえんぴつ

全問正解できましたか？
次回はもっと手ごわいですよ！

ハネオくん

間違い探しクイズ！

上と下のイラストに違うところが5つあります。

うんこ漢字ドリルで漢字の勉強を始めたハネオくん。うんこのことばかり考えてたらトイレに行きたくなってしまったようです。

間違いは全部で5箇所。
あなたはいくつ見つけられますか？！

正解は編集後記の下に掲載しています。

トイレを楽しくする新聞

かわや版

KAWAYABAN

2017 夏号 Vol.68

これぞ日本の近代トイレの歴史
TOTOミュージアム

特集

2017年5月15日、日本国内の衛生陶器市場で高いシェアを誇るTOTOが創立100周年を迎えました。今回は、その記念に建設された『TOTOミュージアム』を紹介いたします。

TOTOミュージアムは九州・小倉のTOTO本社敷地内に以前からあった歴史資料館、ショールーム、研修センター等を集約し、リニューアルオープンしたものです。当初、年間2万人の来場を見込んでいましたが、2015年8月のオープンから1年11ヶ月で来場者数累計16万人を超える人気施設となっています。

TOTOの歴史

1917年（大正6年）、東洋陶器株式会社（現：TOTO株式会社）は創立されました。創立者の大倉和親は欧州で目にした便器や洗面台などの衛生陶器に感銘を受け、「日本にも快適で衛生的な生活文化を普及させたい」という信念のもと、衛生陶器の研究に着手しました。当時の日本はまだ下水道が普及していない時代でしたが、それでも国民の健康で衛生的な生活の実現を願って研究開発を進めました。その間会社を支えたのは、食器の製造・販売事業でした。食器の事業は1970年まで続き、今でもTOTOと聞けばお茶碗、お皿の会社だと言われる方もいらっしゃるそうです。そして昭和に入り下水道が普及し始めると、それまで地道に研究開発を続けていた衛生陶器が大ヒットしました。それからは小便器、洗面台から水栓金具、ウォシュレット（※）といった住宅設備までを手がけるようになった。

水まわり商品と歴史

ずらりと展示された水まわり商品の中には社会の発展に大きく貢献したとして、近代化産業遺産、建築設備技術遺産、機械遺産に認定されたものもあります。また、原料の状態から製品になるまでの製造工程が動画付きで紹介されています。複雑な形状を高い品質で製造する技術、見えない部分を含む品質検査、最後の包装に至るまでのこだわりが紹介されており、社是にもなっている「良品と均質」という想いが徹底されていることが感じられます。

まぼろしの男女兼用小便器「サニスタンド」

1964年の東京オリンピックの際に国立競技場の一部の女子トイレに設置されたが普及には至らなかった。女性はおしりを便器側に向けて中腰で使用する。

両国国技館が建てられた時に開発された力士用便器。実際に座することもできる。

裏面へつづく→

4

1

→特集つづき

建築設備技術遺産に認定！ 日本人の生活様式を一変させた製品たち

建築設備技術遺産とは…建築設備技術の進歩と発展において重要な役割を果たした事物や資料に認定される。



初代ユニットバスルーム

1964年の東京オリンピック開催に合わせて開業予定のホテルニューオータニに短期間に大量に納品するために開発されたユニットバスルーム。工期の短縮と軽量化が実現した。展示されているものはホテルニューオータニに現存していた最後の1台を移設したもの。

日本初のサイホンゼット式便器

1927年に日本で初めて商品化されたサイホンゼット式便器。すべてが国産かつ最高級の品質を要求された帝国議会議事堂(現国会議事堂)など、著名な施設で数多く採用された。



初代ウォシュレットG

1980年に発売された初代ウォシュレットG。今やどこの家庭にもあるが、「おしりだって洗って欲しい」のキャッチコピーのCMは当時の社会に衝撃を与えた。機械遺産にも認定されている。

海外展開そして未来へ

日本だけに留まらず、海外で販売している商品も展示されています。中国は金色をアクセントに、ヨーロッパはデザイン重視、洗浄水量に制限のあるアメリカは節水型等々、それぞれの地域の実情に合わせた商品開発がなされています。

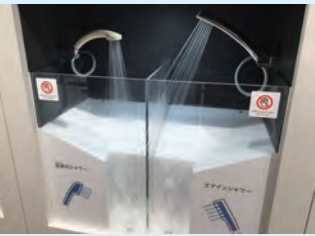
もともとの会社名であった東洋陶器の「東洋」には「日本にとどまらず東洋市場に力点を置きたい」という想いが込められており、創立当初から既に海外展開を想定されていたことがうかがえます。

TOTOの創立から100年の間、社会が急速に発展してきた反面、気候変動や水資源

の危機など、人類共通の課題をかかえています。

TOTOではさらなる新技術の開発で、水消費量7億㎡削減(※)という具体的な目標を掲げています。とてつもなく大きな数字のようですが、それが実現する未来はもうすぐそこに来ているのです。

※2005年度性能向上分



従来のシャワーと最新のシャワーで水量がどれくらい違うか見えるようになっている

まとめ

館内の展示からは、TOTOというひとつの会社の歴史に留まらず、日本のトイレや水まわりの文化が発展していく様子が伝わってきました。現在の豊かで快適な水まわり環境があるのも、先人たちのたゆまぬ努力があったからこそと感じました。ミュージアムで歴史を

学んでから、併設のショールームで最新のトイレを見学すると感慨もひとしおです。九州へお越しの皆様、是非TOTOミュージアムで日本のトイレ・水まわり文化の歴史に触れてみてはいかがでしょうか。

(レポート：ニャーヴェシン公約)



Information

TOTOミュージアム

所在地：北九州市小倉北区中島2-1-1

開館時間：10:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日：月曜、年末年始、

夏期休暇 [8月11日(金)~8月16日(水)]

入館料：無料 団体要予約(20名以上)

お問い合わせ：093-951-2534



かつて便器の製造に使用した道具たち



“オイルレスベアリングの総合メーカーとして世界のリーダーとなり、技術で社会に貢献する”
オイレス工業株式会社 様

● 創立：昭和27年3月 ● 住所：神奈川県藤沢市桐原町8番地 ● TEL：0466-44-4811 ● URL：http://www.oiles.co.jp

お客様訪問

No.41

神奈川県藤沢市に本社を置くオイレス工業様はオイルレスベアリングを製造する機械メーカーです。企画管理本部 総務部 管理課の泉谷忠幸主任と笠井友昭さんにお話を伺いました。



▲企画管理本部総務部管理課の泉谷忠幸主任と笠井友昭さん

■オイレス工業様の特徴を教えてください。

弊社はオイルレスベアリング(無給油軸受け)や制震・免震装置を製造し、独自の技術力を発揮しています。オイルレスベアリングと聞いてもなじみが薄いかもしれませんが、自動車や橋、コピー機から介護用ベッドなどあらゆる所で使われており、人々の生活を支えています。国内には19の営業所・工場があり、海外にも事業展開をしております。



▲オイレス工業様の製造するオイルレスベアリング

■アメニティのリピートメンテナンスを導入されたきっかけを教えてください。

私ども藤沢事業場は工場も含め8つの棟があります。

最初のきっかけは私にも分かりませんが、以前から一番古い棟の1箇所のトイレだけリピートメンテナンスをお願いしていました。そうしたところ、3年くらい前にご担当の加藤さんから「どうせなら他のトイレもやりませんか？」と提案があり、全ての棟でトイレ診断をしていただきました。すると臭いや汚れもありましたし、故障して使用禁止になっていたとか、少し水漏れしているとか、私ども管理課でも把握しきれていなかったトイレの問題を改めて認識することができました。臭いや汚れもなくなって、こういった管理もしていただけるのなら金額的にもそれほど高くないと判断して全ての棟でリピートメンテナンスを導入することになりました。



▲古い設備でもきめ細やかなメンテナンスで清潔感があるトイレ

■導入して良かった点はどのようなところでしょうか？

トイレがきれいになって臭いもなくなったのは単純に良かったところですが、それにより従業員がトイレをきれいに使うようになったと感じています。日常的なメンテナンスも楽になりました。トイレがきれいだと仕事に対するモチベーションもあがります。本社なので外部からのお客様もお

見えになりますから、きれいなトイレでお客様をお迎えできることも良かったですね。

古い工場なのでトイレの設備も古く水漏れや排水の詰まりなどもおこるのですが、広い工場内のすべてのトイレを私が点検して対処して回るわけにはいきません。その点、加藤さんが月に一度のリピートメンテナンス時に点検を実施して、問題が大きくなならないうちに対処してくれるので管理はとても楽になりました。他にも、便器を和式から洋式に取り替えたり、ウォシュレットを取り付けたり、手洗いを自動水栓にしたり…と水まわりに関してはとにかく全て、思い出せないくらいありとあらゆることをやってもらっていますね(笑)。

■その中で印象に残るエピソードなどありますか？

ある時、弊社の役員の使うトイレで水が出なくなってしまったのです。すぐにでもなんとかしなければ…！と加藤さんに連絡したところ、すぐに来て直していただきました。あの時は本当にありがたかったですし、困ったときはまたアメニティさんをお願いしようと思いましたね。こちらが何か困ったときに相談できて迅速に対応してくれる専門家がいるということは心強いです。

■それでは最後に担当者に一言お願いします。

突然のお願いにもいつもいやな顔ひとつせず対応していただいて感謝しております。これからも宜しくお願いします。



▲ウォシュレットの設置や手洗い水栓の自動化で衛生環境も改善。

☆ 私が担当しています! ☆



SHOP

アメニティ本部
加藤 章(かとう あきら)さん

神奈川県横浜

トイレ診断士ID: 11-0113-0332

オイレス工業様は、長らくアメニティでお取引いただいているお客様です。6年前に前任の担当者から私がオイレス工業様のリピートメンテナンスを引き継ぎました。引き継ぎの為、工場内を回っていると、アメニティが取り扱っていた初期の手洗い自動水栓が手洗い場に設置されており、それを見つけた時は20年近くもの長い間大事に扱ってくださっていることにいたく感動したのを覚えています。アメニティを最真に様々なお困りごとを相談してくださり、トイレを快適にする同じチームの一員としてお役に立てていることが素直に嬉しいです。「助かりました」その一言の為にやっていると、いつも感じます。こちらこそ感謝です。